



星とともに、技術をもとに。

GOTO INC
<http://www.goto.co.jp/>

プラネタリウム納入実績 NO.1

府中市からプラネタリウムを 世界中にお届けしています。

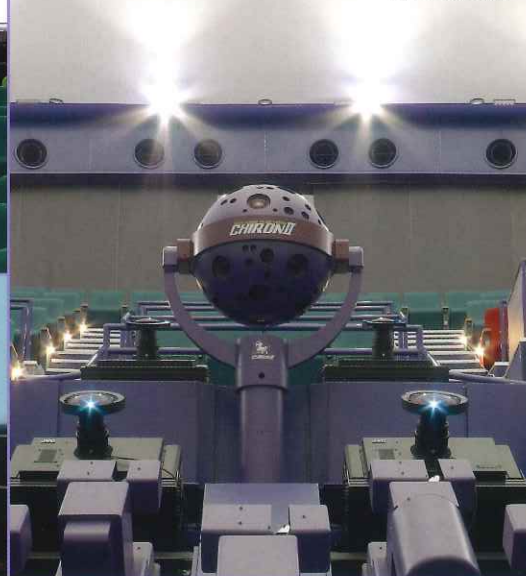
高知みらい科学館



府中市郷土の森博物館



多摩六都科学館



羽田空港国際線旅客ターミナル
"Planetarium Starry Cafe"



“ドーム空間”の
トータルクリエイター

株式会社 **五藤光学研究所**
〒183-8530 東京都府中市矢崎町4-16 ☎042(362)5311

- ハイブリッド・プラネタリウム
- 光学映像機器・大型望遠鏡の製造販売
- プラネタリウム番組・コンテンツ制作

- デジタルドームシアター
- ドーム建設工事
- 機器保守保全受託
- 施設運営受託、イベント・プロデュース 他



星とともに、技術をもとに。

GOTO INC
http://www.goto.co.jp/

株式会社五藤光学研究所は、
プラネタリウムをはじめとするドーム空間を構築する
総合メーカーです。

★ わが社の特徴

1926年、望遠鏡を製造する光学機器メーカーとして創業した弊社は、常に最先端であり続けるために、技術要素を日々研究し、製品の開発を行っています。創意工夫をモットーにプラネタリウムの可能性を追求し、ドーム空間のトータルクリエイターとして、施設の企画・立案から機器製造、納入、番組制作、運営サポート、保守管理までの一連業務をすべて自社で行っています。

★ 国産プラネタリウムのパイオニア

1955年、創業者 五藤齊三が米国でプラネタリウムを視察し国産化を決意。「高度な光学機器でも部品を作っているのは中小企業。プラネタリウムのような大量生産に向かない製品こそ、中小企業が手がけるべき」との意思を貫き、1956年より開発に着手し、1959年国産初のレンズ投映式プラネタリウム「M-1型」の開発に成功しました。当時、ドイツの名門カール・ツァイス社製と比較し、同様の性能と10分の1の価格を実現したことから世界中で多くの注目を集めました。現在では、日本のみならず、米国、欧州、韓国、インドなど世界各国に納入しています。

★ 新たな発想と技術で業界をリード

光学式と全天周デジタル映像システムを融合すれば、新たな演出が可能になることに着目し、2004年「ハイブリッド・プラネタリウム」を開発。五藤光学研究所の次世代プラネタリウムです。光学式の精細で美しい星空を映しながら、デジタル映像を重ねてさまざまな演出をドーム空間で実現しました。星空にカラフルな星座絵や星座線が重なる様子や、惑星や星雲などの最先端映像も楽しめます。近年では、世界で初めて肉眼で見ることの出来る約9,500個の恒星すべてに固有の色を付加し、色彩まで再現した「ケイロンIII」、中小規模ドーム対応の「パンドラII」や88星座絵をも投映する「オルフェウス」を開発し、国内外に「ハイブリッド・プラネタリウム」として納入しています。

★ コンテンツ開発も重要ミッション

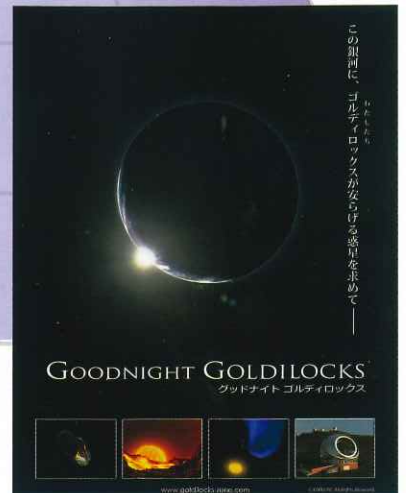
プラネタリウム装置の開発・製造と共に、映像コンテンツや画像制作なども展開し、年間約200作の番組を納入しています。シナリオに合わせて映像や音を組み合わせ、プラネタリウムと共にドーム空間を“星空舞台”に仕上げます。また、各種画像、CGなどの制作、加工も自社で行っています。

★ ドーム映像(展示・博覧会映像)

1970年の大阪万博で世界初の全天周映像を実現して以降、ドーム映像にとどまらず、特殊な形状のスクリーンや高解像度が求められる特殊な映像空間を手がけています。ドームスクリーンに映像を継ぎ目なく投映する映像技術と、40年以上にわたる展示・博覧会映像のノウハウの蓄積は、様々なプロジェクトにも対応が可能です。

★ 大型望遠鏡

創業以来、より遥か遠くの宇宙を伝えるため大型望遠鏡を開発・製造しています。長年の「ものづくり」で培った技術力と、優れた光学設計、レンズ研磨技術は、高い品質を生みだしています。



プラネタリウム番組：グッドナイト ゴルディロックス



全天球映像装置：国立科学博物館 シアター360



集団観測システム：島根県立三瓶自然館サヒメル



移動天文車：府中市郷土の森博物館「ベガサスII」

株式会社 五藤光学研究所
〒183-8530 東京都府中市矢崎町4-16 ☎042(362)5311